

第23回 四国地区経済同友会交流懇談会
共同アピール「スポーツによる地域活性化に向けて」

平成26年8月29日

四国地区4経済同友会

一般社団法人徳島経済同友会

一般社団法人香川経済同友会

土佐経済同友会

愛媛経済同友会

第 23 回四国地区経済同友会交流懇談会
『共同アピール』

スポーツによる地域活性化に向けて

四国地域の活性化は、四国の各地域に住んでいる住民が、真摯に心から地域が発展することを願い、知恵と努力を発揮することが一番と考える。

私達が居住するこの四国には、多くの埋もれた観光資源や産業遺産があるほか、歴史的に鑑みても野球を筆頭にしてスポーツに関わる観光資源が数多くあることは事実である。

本日この「第 23 回四国地区経済同友会交流懇談会」に於いて、スポーツを基軸とした観光資源を四国が一体となって地域活性化に活用すべく共同でアピールを採択し、四国内外に発信することとした。

○生涯スポーツによる「健康」から「健幸」へ！

健康寿命を 1 年延長しようといったことが叫ばれるようになってきた昨今、いつまでも元気でありたい、元気に暮らしたいのは誰しもの願いである。健康を保つには努力が必要であり「果報は寝て待て」では健康にはなれない。これからの時代「健康」だけで満足せず、もう一つステップアップさせ「健幸」を目指すべき時である。

○スポーツ活用による健全な教育を！

「健全なる精神は健全なる身体に宿る」といった言葉がある。スポーツは、勝ったことの喜び、負けた悔しさ、相手への思いやり、チームワークの大切さ、先輩指導者への感謝、周りの人への感謝など、多くの人生観を育んでくれる。特に成長期にある若者達には、スポーツを多く取り入れた健全教育の推進を望む。

○「スポーツ」＋「文化・芸術」による地域活性化を！

地域の活性化を図るためには、人が集まる仕組みが大切である。イベント・催し物を開催し、それを長続きさせていく為にはスポーツの力、文化・芸術の力が不可欠である。隠れた文化・芸術資源を掘り起こし、スポーツを盛んにし地域の発展の活力とすべきである。

○プロ野球誘致による地域振興と活性化を！

よくスポーツなどで経済効果といった言葉が聞かれる。アメリカでは、プロ野球球団を 16 球団から 30 球団に拡大し各地域では大変な経済効果を生んでいる。日本でも、現在の 12 球団から 16 球団（四国・北信越・静岡・沖縄）にしようといった自民党の日本再生ビジョンが出された。四国は昔から野球の聖地であり、今こそ四国ブロックのプロ野球チーム造りに手を挙げるべき時である。

○その他にも、徳島でみられるようなサッカーJ1 チームの育成、四国をサイクリングの聖地にして世界に売り出し、「ツールド四国」などと銘打ってサイクリングコースを整備しサイクリストを迎え入れる体制づくりを行うべきである。